

一口メモ

メニエール病は、反復する回転性めまいに難聴が同時に起きるのが特徴。メニエール病の発作はストレスが関係するため、普段から有酸素運動などを取り入れ、ストレス軽減に努めたい。

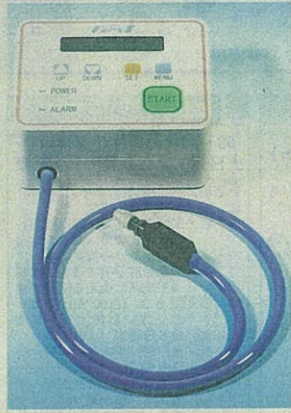
知りたい!  
治療の最前線

メニエール病

◇27

めまいは日常の診療で訴えの多い症状の一つです。突然めまいが起きた場合は、脳梗塞など頭の病気の可能性を考慮してMRIなどで画像検査を行います。頭に異常がなく、めまいを繰り返す場合は、メニエール病など耳の病気がないか確認する必要があります。

# 中耳加圧治療が登場

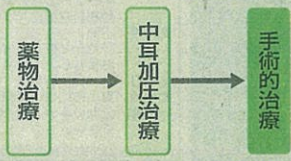


中耳加圧治療器

めまいの発作にはストレスが関係しており、過労や睡眠不足が誘因になります。この発作が繰り返し起きることにより、日常生活にも支障を来すようになります。  
メニエール病のめまいの発作時は、気持ちが悪くなり、

き、ひどいときは吐いてしまいます。  
ストレス関係

メニエール病の段階的治療



## 圧波でめまい軽減

メニエール病は、内耳の三半規管や耳石器に原因不明のむくみ(内リンパ水腫)がでることで起きる病気です。内リンパ水腫は内耳の聞こえのセンサーである蝸牛(うずまき管)にもでるため、同時に聞こえも悪くなります(難聴と呼びます)。ぐるぐる回るようなめまいが10分以上続

く、めまい発作を繰り返すケースもあり、口から薬を飲むことができません。そこで主に薬の点滴治療が行われます。めまいとともに難聴を併発した場合は、ステロイドを使用します。めまいが治まったら、まず薬物治療を行います。内リンパ水腫に対する経口利尿薬(抗めまい薬など)を使います。ただ、薬物治療の効果がなく、めまい発作を繰り返すケ



将積 日出夫  
富山大附属病院  
耳鼻咽喉科診療科長・教授  
先端めまいセンター長

ースもありました。これまでは手術による治療で対処してきましたが、新しい治療法として「中耳加圧治療」が行われるようになりました。

これは当院の耳鼻咽喉科が開発し、2000年から始めた治療で、メニエール病のめまい発作が薬物治療で治らない場合に用いられます。「中耳加圧治療器」という治療専用器で周期性的圧波(強弱のついた圧力)を作り、それが鼓膜を介して内耳に伝わることで、メニエール病のめまいに有効であることが臨床研究で明らかになっています。18

年9月から健康保険の適用が認められています。

手術の前に

従来、薬物治療が有効でないめまい発作については手術的治療が行われてきました。中耳加圧治療が登場したことで、段階的治療が可能になりました。中耳加圧治療は、薬物治療と手術的治療の中間に位置する治療で、低侵襲な順に、薬物治療→中耳加圧治療→手術的治療となり、まず低侵襲な治療が無効な場合、次のステップに進みます。なお、当院では薬物療法として、西洋薬と漢方薬を併用した治療から開始しています。

◇ 次回はお口に掲載します。